

平成 20 年度市政懇談会会議録【加茂地区】

日 時 平成 20 年 7 月 12 日 19:00~
会 場 加茂地区センター
参加者 41 人

市長からの市政報告、病院長からの現状報告のあと、参加者の皆さまとの懇談(質疑応答)に入りました。

懇談(質疑応答)

三軒家 男性

JA 加茂支店移転の件ですが、私たち加茂の住民にとって地区センターは市で言えば庁舎と同じです。先ほど市長のお話にあったように市の方針として3つの基本理念があり、その1番として「共に生きる」という、地区センターを中心に市民参画型の方針だという説明をいただきました。今こうして地区センターで懇談会を開いているわけですが、JAさんの駐車場を遠慮なく、当たり前のように借りております。そのおかげでこうして市政懇談会を開催できています。普通の企業では考えられないことだと思っております。市には昨年からお願ひしておりますが、加茂支店が移転をするということですので、この地区センターのためになるよう何とかいい方法をとって欲しいとお願ひしております。JAさん、市の今までの経過、そして市の方針を聞かせていただきたいと思ひます。

市長

JAの跡地利用ですが、地区の皆さんより大変強い要望をいただいていることは承知しております。JAさんの経営改革の中で統廃合をしまして、加茂地区だけでなく3,4箇所非常にいい土地を統合するというので、土地利用したいということになっております。まず1つは、JAさんと市の担当で1年ほど前から協議を進めておまして、土地利用については行政ときちんと話をして活用したいと話しております。具体的に加茂地区のJAの土地につきましても、今、担当課で今後どのようにするか協議しておまして、近い将来にはその方法をきちんと出したいと思ひています。平川や横地とか、西方とか小笠東地区などから数箇所、そのような要望が出ておりますので、バランスを考えながら、土地利用につきましてもなるべく早く方向を出したいと思ひております。その時には、地域の皆さんにも相談をさせていただきたいと思ひておりますのでよろし

くお願いいたします。

三軒家 男性(再質問)

近い将来に、いい方向にということでは理解してよろしいですね。この地区センターから JA さんの駐車場がなくなってしまうということは、この地区センターの機能を果たすことができなくなってしまうことです。市の庁舎の駐車場がなくなってしまうのと同じことで、市でもコミュニティに力を入れていく、あるいは自治会に力を入れていくことと逆になってしまうので、前向きに検討していただきたい。もし前向きに検討していただけないということになると、極端に言うと加茂の住民に死ねと言うような、それくらいのことですので、JA さんの跡地が加茂地区センターのためにならないような方向に向くということは、市長が加茂を見捨てたとそのように私たちは考えますので、いい方向でよろしくお願いいたします。

三軒家 男性

加茂幼稚園の園舎が老朽化しておりますが、しかも、園舎・園庭ともにたいへん狭いということ、前々から言われておりますが、早急に対策をたてなければならぬと度々訴えてきました。これに関連しまして以下の 6 点について質問させていただきます。

平成 19 年に作られた「幼保施設整備計画」の中で、菊川市としての基本方針が打ち出されました。平成 20 年度はその方針を踏まえながら、次のステップを踏むことになると思いますが、市としては今後どのように進める計画でしょうか。

園舎建て替えは、耐震工事終了後といわれている。耐震工事の具体的な計画を明瞭にしていきたい。また、たとえ園舎建て替えが耐震工事終了後としても、園舎建て替えの具体的な計画は、並行して行っていただきたい。

加茂幼稚園の園舎を新しくする方向性はあると聞いておりますが、その場合、規模が幼稚園のみとなるにしろ、保育園と一体化になるにしろ、公立の園舎として新設すると判断してよいか。加茂幼稚園後援会としては、ぜひ公立の園舎を希望します。市長の方針を伺いたいと思います。

幼稚園と保育園の一体化についてですが、加茂幼稚園の園舎を新設する場合は、将来的に幼保を一体化した方がいいと考えられます。子供を預ける親の立場からも、また乳幼児同士の相互の教育のことを考えても、その方が効果的だと思います。市はどのような方向で考えているか。

新園舎の設置場所ですが、加茂幼稚園後援会としては、菊川市で小学校区

ごとに統計を出している乳幼児人口のデータからも考えても、新園舎は加茂地区内に設置することを希望します。ただ将来のことを考えれば、内田、横地地区の乳幼児も対象にし、単なる加茂幼稚園ではなく、菊川市の幼稚園、保育園として、菊川市として誇れるようなものを設置することも十分考えられます。そのような場合を想定しまして、新園舎の設置場所を考えた場合、市としての設置場所設定の具体的な計画を伺いたい。

新園舎設置計画を推進する場合には、幼稚園関係者や地域住民の意向を十分尊重して、速やかに進めることをお願いしたい。

白岩下 男性(上記に続いて質問)

幼稚園に後援会があること自体が不思議な現象で、中学校や高校には後援会はあるが、幼稚園にはあまり後援会はない。なぜ加茂幼稚園には後援会があるかということ、加茂幼稚園が置かれている現状が、非常に問題があるということで、平成9年から後援会がスタートしてきています。それから活動を続けて11年経ちますが問題が解決していない。何が解決されていないかということ、部分的には耐震化とかは解決されましたが、現在の加茂幼稚園は、建設が昭和50年で今日まで33年が経ち老朽化が進んでいる。内田保育園とほぼ同等だと思いますが、幼保の施設では最も老朽化しています。そういった問題が解決されていない。もう1つは、園舎が非常に狭い。例えば、平成20年度の加茂地区の3歳児の子供の数は約79名に対し、加茂幼稚園に入ってきた人数はその半分です。そうすると十分受け入れ態勢ができない現状です。園庭も昔の大きな農家の庭と同じようなものです。そういったところで約92名の園児が生活している。これを何とかしてもらいたいという問題がずっと掲げられ今日までできています。私ども3名、渋谷副会長、八木会計、初めて役を受けて、暗中模索の中検討していましたが、3人でまとめたものが、先ほど副会長から話した6項目で、後援会全体でまとめたものではありません。しかし、だいたいこの線は皆さまにも了承していただけると思います。1番目に「幼保施設整備計画」が菊川市で昨年度でき、その骨子は適正規模と適正配置が2本柱になっていると思います。適正規模は幼保の人数を適正化すること。その人数には質疑ありということで、市議会でも質疑がありました。適正配置は今や加茂幼稚園や内田保育園ということで考える段階ではなく、菊川市全体の施設として考える段階ではないかということで「幼保施設整備計画」ができた。それを踏まえ、市では具体的にこれからどういう風に進めていくかを伺いたい。

市長

冒頭でも話しましたが、子育て支援については、きちんと市でも対応すると

いう基本的な考え方はもっています。加茂幼稚園の件についても、前々から加茂地区の皆さんから要望をいただいております、それにつきましても教育委員会をはじめ、福祉環境部、最近ではこどもみらい課を含めて対応しています。そういった中で、3月に「菊川市幼保施設整備計画」を策定し、その中で適正規模と適正配置の基本方針を決定させていただきました。これは加茂幼稚園とか内田保育園ということではなく、これからの5年後、10年後の長期的に菊川市の幼稚園、保育園を考えるうえで、一つの計画がなければ方向が定まらないので、この計画書を現場の先生方や関係者の皆さんの参画のもとで作られました。当然ベースには、利用者の立場に立つこと、利用者の希望する保育ニーズ、幼児教育のニーズに対応した必要なサービスをどうするかということをもとに基本として定めたところです。その後、内部の中で教育委員会、民生部局で話をする中でスピードアップをするという中で取り組んでおります。先ほど副会長さんからお話があったように、菊川市では幼稚園、保育園の耐震化、加茂幼稚園は耐震が済んでいます、それをきちっと進めるよう指示しております。それに並行して、加茂幼稚園とか老朽化している内田保育園をどうするかは、地域の皆さんときちっと協議をし、そこに関係する保護者や教育関係者の皆さんと話をしながら進めていくべきだと思っておりますし、それが一番の近道であり有効な施策であると思っております。

白岩下 男性(再質問)

組織的に整備計画策定委員会を作ったけれど、次にどういう委員会を作るかという回答がなかったのが残念でした。

2番目の質問は、新年度当初、市長と会った時に、具体的に園舎の設立計画が出てくれば予算をつけますと言っていたので期待していましたが、その後、あちこち耐震工事があるということが流れてきて、その具体的な計画がこれから始まっていくと。その一環として、平成20年度は東小学校の体育館を耐震工事しなければならないということを知りました。耐震工事は東海地震の震源域に近いことでもありますので、早急に対応しなければならない事柄ですので、着工はやむをえないですが、その後、平成21年度にはここをやり、それが終了したら幼稚園や保育園については新しく作るというような具体的なステップがあるかどうか。耐震工事が終わってから、新しい幼稚園の建設のプランを立てるようでは遅いので、プランを立てるなら今からプランを立てたほうがいい。

こどもみらい課で課長とも話しましたが、まだ具体的なプランはないようでしたので、掛川市の幼児教育課の課長補佐の方と2・3回話をしました。掛川市では、平成12年に「幼児教育振興計画」をたて、平成14年にそれに基づいた幼保園を完成し、平成15年にそれを開園した。3年の早いスピードで取り組

んでいました。菊川市も耐震工事が終わってからではなく、同時並行で計画を進めていただきたい。耐震工事は、東小学校の後はどんなものが残っているか教えていただきたい。

市長

東小学校体育館の後は、南小学校の体育館の建設があり、保育園は横地保育園、菊川保育園をこの1・2年で耐震化する計画で進められるということです。

白岩下 男性(再質問)

そうすると、平成22年にはだいたい終わるということですか。

市長

予算の中で実施計画を立てながら進めています。その中で話をしていますので、耐震をまず先にやるということで平成18年にスタートしていますので、耐震工事については、22年までに完成する予定です。それぞれの私立幼稚園、保育園については、財政的な問題や計画もありますので、1・2年延びるということも今までの前例もありますので、私立の場合には、今ここではっきりとお答えできない状況です。

白岩下 男性(再質問)

要望ですが、それが終わってからプランを立てるのではなく、新しく幼保園を建てるのならば、プランは同時並行で進めて欲しい。

市長

先ほども話しましたが、この事業が終わってからスタートするのではなく、それぞれの地域とか関係する皆さんで話していただくことはいいと思いますし、行政を呼び出しいただく、やり方にもよりますが、当然、協議することは非常にいいことだと理解しています。ただ行政の場合、財政計画がありますので、その点についてはご理解いただきたいと思います。

白岩下 男性(再質問)

加茂幼稚園の園舎を新しくするというのであれば、現在の加茂幼稚園は市立でありますので、新しく建てた時も市立で建てて欲しい。内田保育園と合体するにしても、民営化でなく、菊川市の教育行政・教育方針の中で幼童対策を立てる施設として建設していくというものと理解してよろしいですか。菊川市は民間の私立の理事長さんの発言権が非常に強いと聞いております。幼保施設

整備計画の立案についても、加茂幼稚園の園長さんは出席していないのではないかと、資格を与えられてないのではないかと思います。そういった中で計画が策定されていますので、私立の園長さん、理事長さんの意向に振り回されるのではなく、公立として菊川市立として模範的な幼稚園にしる、保育園にしる建設すると理解してよろしいでしょうか。

市長

私立の先生の発言力が強かったからその方向になったということについては、私はお答えできません。当然公平な立場の委員会の中での協議ですから、皆さんが公平に会議に参画され、それぞれの意見をされたと理解しています。協議会の中では、きちっとした協議がなされ、その整備計画が策定されたと認識しています。

また、加茂市立の幼稚園でいくのかというのは、これからの教育委員会の考え方もありますし、幼保施設整備計画を尊重しながら、これから協議していくべきものだと認識しております。

白岩下 男性(再質問)

ということは、必ずしも公立でということは約束できないということでしょうか。

市長

先ほどの幼保施設整備計画がありますので、それに乗っ取って方向を出していくものと思います。

男性

平松橋の件について2つお願いしたい。大変遅れているが、この事業は国が責任者になるのか、それとも県か市か。もう一つは、あそこは子供たちの通学路になっていて白岩下の方は東をまわり、白岩段の方は南をまわるという状況になって危ないので、どうせ遅れるなら着工をもう少し遅らせて、工期を短くできなかったのかと思う。

まず責任がどこかということ。そして、通学路の確保。例えば、子供が通うときには車の制限をするなど、どのように考えているかお聞きしたい。

市長

大変ご迷惑をおかけしています。これは県の事業で、袋井土木事務所が担当しております。鋼材がなかなか用意できなく、袋井土木事務所が言うには、3ヶ

月くらい遅れ、9月頃には用意できるという話でした。子供たちの通学路で心配をおかけしていることも聞いていますので、教育委員会にも事故がないようにきちっと対応するよう伝えておきます。また県にも早期に完成するようお願いしていきたいと思います。

白岩東 男性

白岩東は、昔は葦が生えていたが、今、加茂地区は菊川のメインストリートになっています。そんな中でも白岩東にはメダカやホタルもでるという状況です。質問は、半済5丁目下交差点から東に抜けるけやき通りの一方通行解消の件です。白岩東、白岩下、白岩段、西袋の住民にとって、けやき通りの郵便局、スーパー、JA セレモニーホールの利用度は高く、特にセレモニーホールが出来てからは、短時間に集中的に車の往来があり、かなり渋滞しています。逆に河城地区の皆さんは、加茂地区のメインストリートに来て買い物や食事をして帰るにしても、帰る道がはっきりしていないのが現状です。さらに交差点より北の西沢楽器のところはJAに抜ける道ですが、この道路は交互通行になっています。道路の通行制限、規制が現状に合致していないのが現状ですので宜しくお願いします。ここに来ている人でも一方通行で違反切符を切られた人も何人もいます。何だか交通安全よりも違反摘発が目的の道路にも見えます。加茂地区発展のためにも一方通行解消をお願いしたいと思います。

市長

吉田大東線の西から行って、中学の前を通過して入るところのことですね。先ほどお話ししましたように、中学の前の道路拡幅をさせていただきますので自治会の皆さまにもいろいろとご協力をお願いしたいと思います。

経過について少し調べましたところ、昭和52年に進入禁止にしたということがあります。その経緯につきましては、当時の5丁目地内の方と自治会の皆さんから交通安全のため、また子供さんの通学上の安全のために、地元から交通規制をしてもらいたいという要望があったとのこと。市内にもたくさん進入禁止や一方通行の道がありますが、ほとんどが地元の皆さんの交通安全あるいは交通要望に対しての施策であります。そのような経緯があることはご承知いただきたいと思います。また、要望があったことは県の公安委員会に伝えていきたいと思います。

西袋 男性

菊川市も下水道が平成16年から各地区で稼働されているように思われますが、加茂地区の西袋も南部の区画整理事業の中はまだですが、それから西、西方川

がありまして、その両隣に西袋がまたがっています。加茂地区は白岩下、白岩段、西袋が少し工事に入っています。聞くところによると、下水道の既設区域の中で、公共枡が増設できないという話を聞いたのですが、計画の中に予測していなかったのか。また計画の中にもともと入っていなかったのか。新しく宅地を建つお宅は、区域内は当然下水道を使うつもりでいるんじゃないかと思いますが、聞くところによると西袋にあります西方川を越す堂坂橋という橋がありますが、その近くにポンプを据えて川を越すというようになっていますが、そのポンプの施設が小さいため、公共枡を増やすと対応できないと聞いたのですが、そんなことが計画の中で予測とか計画がわからなかったのか。それとも他に問題があるのかお聞きしたい。

市長

下水には、皆さんにご理解と加入のご協力をいただきありがとうございます。この下水道の区域ですが、一般的な下水道の区域と特環といって特殊な区域がありまして、区域を決めて国に申請します。一般的な下水道の区域と特定環境保全下水道区域というのがありますが、今お話されたのは、おそらく特環区域の枡のことだと思います。下水道法の中でいろいろと事情があるということも事実であります、環境問題でありますので、これから新しくそこに建てたいというところに、枡を設けてもらいたいということだと思います。担当が都市計画課の下水道係になりますので、一度話をさせていただきたいと思います。私の方で聞いているのは一つの要綱、一つのルールを決めさせていただいて、そのなかで対応できるかどうかを検討しているということですので、またその点については情報をいただくなかで対応していきたいと思います。

建設経済部長

下水道には、公共下水道の区域と特定環境下水道の区域があり、ここの地域では西方川の左岸、地区センターもそうですけど、これらの地域は、都市計画法でいうところの用途地域に入っています。用途地域に入っているところは、面でとらえて下水道を計画していますので、今農地になっているところや、家が建っていないところでも、公共下水道に接続することは全く問題ないように設計されています。ところが、西方川の右岸、西側の方は、特定環境といまして、面で受益をとらえるのではなくて、用途外であっても目的は公共水域の水質を確保するとか生活環境とかの話があるので、住宅が連なっている地域を点でもって、Aさん、Bさん・・・というように既存住宅の水を処理するというで作ったのが特定環境区域です。現在農地があって、その土地を農地転用して住宅にしようとした時に、なぜ下水道につなげないのかということだ

と思いますが、点で受益者（入ってくる水の量）を計算しています。1ヘクタールでだいたい49人くらいの人口密度で設定しています。例えば、吉田大東線の一部の区域に農地があり、平成10年に受益を決めたんですが、そのときには農地なので、そこから污水が入ってくることは計算外となります。そこに家を建てました、下水道につなげたいといったときは、下水道法や市の条例の中で一定の条件をクリアすればつなげることはできます。ただ問題になるのは、下水道施設に影響を与えないような水質であるか、また与えないような水量であるかという条件や、つなげようとする人が施設整備に要するお金をみってくれるかというような一定の条件をクリアした場合は接続が認められるように考えています。

もう一つはマンホールポンプの関係ですが、このマンホールポンプが処理をしなければならない区域が、堂坂橋から西方川の右岸域、西側をずっと上がって堀田からJRの北側の西方の方まで入って、さらには尾花の工業団地も入っています。それくらいのエリアを区域としてやっている。面積的には175ヘクタールくらいとってありまして、人数でいうと5800人分、1分間に2.88トン进行处理するだけの能力を持たせてあります。今現在どうなっているかという、公共下水道を使える地域が限られていますので、これから尾花の工業団地、西方の堀田地域と事業を進めていきますので、今現在は十分能力として耐えられるものになっている。平成10年の区域設定では、先ほど申し上げた堂坂橋から尾花工業団地までを区域として設定しています。

西袋 男性

新たに家を建てようと思っても、そのお宅は合併浄化槽で使用する形になるのですか。公共枘ができないとなると。

建設経済部長

そのお宅がどこら辺の位置になるかわからないので詳細を申し上げられませんが、例えば、吉田大東線には管が入っているので、そこに接するところに建てられた場合、一定の条件をクリアすれば許認可のなかで認められることもありえます。そのときに問題なのは、加入の能力はまだ十分空いているのでいいですが、全てがうまったときにどうなのかということで、1分間に2.88トンと計算されていますので、接続できないというわけではありませんので、場所の問題、どのような水質のものが流れるのか、そういった部分の詳細を教えてくださいたいと思いますので、都市計画課の下水道係にご相談してください。

青葉台 男性

去年も参加したが、市長の講演会なのか懇談会なのかわからない。自治会の皆さんからたくさん質問があるのに、前半 1 時間も取ってしまって、院長先生も出て説明してもらったので充実はしてますけどね。細かい質問はコミュニティ協議会の方っていうか、そういったあり方そのものを見直してもらって、市の全体のなかで加茂がどうあるか、これからどういった未来をとという話しをしていきたいと私はそう思って来た。今の都市計画の話は個別に協議すべき話。

農地から転換され、下水を引きたいという要望。加茂は、今まで農地だったんです全部。それが住宅化ということで都市計画で今のようになって、道ができて全部住宅地になった。それがよかったかどうかは別として、たくさんの農地が失われたとも見る事ができると思いますが、そのことについて市長の見解を伺う。

市長

加茂地区におきましては、それぞれの市民の皆さんと区画整理をしたり、農業の保全をしたり、地域の皆さん協議をしながら行っています。当然、総合計画や国土利用計画などの計画を立てる中でやっています。市民の皆さんとの協議の中で地域の開発については考えております。